

東京大学音楽部管弦楽団

サマーコンサート 2023

演奏会開催における感染症対策ガイドライン

第1版 2023年4月15日

東京大学音楽部管弦楽団



目次

§1 はじめに p.3

§2 演奏会の開催 p.3

§3 感染者発生時の対応 p.4

§4 ご来場いただくお客様の感染防止策 p.5～p.7

§5 出演者の感染防止策 p.8～p.9

§6 ガイドライン等の改訂について p.9

§1 はじめに

本ガイドラインは、東京大学音楽部管弦楽団(以下、当団)が「東京大学音楽部管弦楽団サマーコンサート 2023」を開催するに際しての、新型コロナウイルス感染症への対策をまとめたものである。当団は、本ガイドライン並びにそれに附属する各種指針・マニュアルを遵守する。また、本ガイドライン等の想定しない事態、又は本ガイドライン等が前提とする情勢から著しい逸脱が生じた場合には、大学をはじめとする関係各所と緊密な連携をとった上で慎重な判断を行い、本ガイドライン等を改定の上、遵守する。

§2 演奏会の開催

(1)演奏会開催の判断

当団は、公演地域の感染状況を注視するとともに、国や自治体の対応を考慮し、演奏会の開催を慎重に判断する。また、施設管理者と緊密に連携し、その指示に従う。

(2)演奏会の中止

演奏会の中止を決定した場合は、速やかに各種媒体を通じてお客様に周知を行う。

§3 感染者発生時の対応

(1)活動時の対応

体調に異変を感じた団員は、東京大学新型コロナウイルスタスクフォースが指示する方法に従って行動する。<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400143098.pdf>)

(a)団内に濃厚接触者が確認された場合

当該団員は保健所の指示に従い、活動には参加しない。保健所より待機命令が解除されたことを団が確認したら、活動に復帰する。

(b)団内に陽性者が確認された場合

PCR検査により陽性判定を受けた団員は、大学の所定の手続きに従い、所属部局の連絡窓口へ報告を行った後、必要情報を開示する。

団は学生支援課および大学保健センターへ連絡を行い、団が記録している当該団員の活動/接触履歴を報告する。濃厚接触者の判定などは医療機関に従い、その判定が済むまで、接触の疑いのある者は自宅待機を行う。団の活動は陽性者の発覚時点から停止とする。活動再開は団内の感染状況を確認し、状況に応じて学生支援課等と協議のうえ判断する。

(2)公演時の対応

公演後にお客様、当団団員、その他公演関係者に感染者が確認され、当団が保健所から通知を受けた場合には、該当公演にご来場いただいたお客様全員に通知する。

§4 ご来場いただくお客様の感染防止策

(1) チケットの販売

チケットの販売は原則としてチケット販売管理サービス「Teket(テケト)」を通して行い、電子チケット又は実券を発行する。また、Eメール、電話、FAXでの注文も受け付ける。

① チケット販売規約の作成

チケットの販売に際しては、お客様と齟齬なくチケットの販売を行えるよう、チケット販売規約を作成し、お客様の同意の下、各種サービスを実施する。

② 感染防止対策の周知

演奏会の宣伝並びにチケットの販売に際しては、当団が実施する感染症対策についてお客様に十分なお説明を行い、必要な範囲でお客様にご理解とご協力をお願いする。

③ 払い戻しの周知

体調不良者は、チケット代金を払い戻しの上ご入場をお断りする。又、体調不良を理由にご来場を取りやめたお客様で、払い戻しを希望されるお客様に対しても、返送等に係る手数料を除くチケット代金を払い戻す。チケット販売規約にも払い戻しに関する旨を記載し、当日のお客様への周知、並びに同意の上での販売を行う。

④ 当日券・当日預かりの扱い

当日、会場受付での密集を避けるため、事前にチケットをお求めいただくよう周知する。尚、当日に実券の受け渡しを行う場合には、マスクを着用するなど飛沫感染防止に努める。

⑤ 配席数等

配席数は、感染状況や各種要請等を考慮し、演奏会場が規定する収容定員を上限として設定する。収容人数に変更が生じた場合には、各種媒体にて周知を行う。尚、配席数を既に発売されたチケット枚数より減らす場合は、全ての販売を中止した上で、既にチケットを購入されたお客様を対象に再度席の分配を行う。この操作は払い戻しの対象となる。

(2)ご来場いただく際の感染防止策

ご来場のお客様に対しては、「三密」の回避を念頭に、接触感染、飛沫感染の予防に努める。各取り組みについては、『サマーコンサート 2022 ご来場時の新型コロナウイルス感染症対策のお願い』を通じて、お客様に事前に周知する。

①ご来場前

- * 下記に該当する方はご来館をお控えいただくよう周知する。
 - ・各自で検温を行い平熱と比べて高い発熱がある方、または発熱が続いている方
 - ・発熱、咳やくしゃみ、喉の痛みなど、体調不良の方
 - ・ご自身の体調に不安のある方
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者又は濃厚接触者で政府所定の隔離期間中にある方
 - ・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があり政府所定の待機期間中である方
- * この他、糖尿病、心不全、呼吸器疾患等の基礎疾患をお持ちの方や妊娠中の方など、特別の配慮を要するお客様に対して、医師の判断や関係機関の情報をご確認の上、慎重な判断をされるようご案内する。

②ご来場時

- * 入り口および会場内での混雑を避けるため、時間差入場のご案内を行う。
- * 手指消毒にご協力いただく。
- * チケットは、電子版、実券ともにチケットに記載された QR コードを機械で読み取ることで確認する。

③受付業務・各種サービスについて

- * 直接・間接の接触を避けるため、手渡しでのパンフレットのお渡しを中止する。所定の場所に設置し、お客様ご自身でお取りいただくようご案内する。
- * クローク、バーカウンターのサービスは施設管理者の方針に従う。
- * 会場内での混雑を避けるため、ロビーコンサートは実施しない。

④会場内

- * お客様に対し、会場内でのマスクの着用を推奨する。
- * 咳エチケットの実施を求める。
- * 施設管理者と連携の上、十分な換気がなされるよう配慮する。また、換気に伴う冷暖房の不尽をお客様にお伝えする。

* 間接接触による感染を防ぐため、施設管理者と連携の上、多数のお客様が触れる箇所の消毒を行う。また、各所に消毒用アルコールを設置する。

⑤公演中

* 「ブラボー」等の発声をされる際には必ずマスクを正しく着用いただくよう呼びかける。

⑥公演後

* アンケートは原則として Web 形式で行う。紙のアンケートを希望されるお客様には受付で個別に配布する。

* 出演者との面会は禁止とし、楽屋口での出待ち等も行わないようご案内する。

⑦演奏会終了後

ご来場のお客様が、終演後一定の期間内に体調に不調をきたした場合は、速やかに医療機関への受診を行われるよう、ご案内する。

§5 出演者の感染防止策

(1) 普段の活動における新型コロナウイルス感染症対策

①活動方針の策定

当団が独自に作成し、大学より認可を受けた「活動方針－COVID-19 対応マニュアル－」を遵守している。

②活動に際しての感染対策

(「活動方針－COVID-19 対応マニュアル－」より抜粋)

(i) 練習参加前

- 練習参加日は、各自体調の確認を行う

(ii) 練習時

- 手指の消毒の徹底
- マスク着用の徹底(演奏中の管楽器奏者を除く)
- 不要な会話の自粛
- 楽器や譜面台等の物品の共有禁止
- 団員が使用した物品、触れた場所の定期的な消毒
- 機械換気設備の常時稼働および窓の開放による定期的な換気
- 適切な奏者間距離の確保

外部のホールを用いての練習については、ホールが指定する奏者間距離に従う。

(2) 演奏会期間における感染症対策

①公演時の対策

- * 演奏会当日は、毎朝検温を含め体調の確認を行う。その他、手指のこまめな洗浄、消毒など、基本的な感染症対策を実施する。
- * リハーサル、本番中の奏者間距離は施設管理者との協議により適切に定める。
- * 受付係員は、お客様と適切な距離(概ね 1m 以上)を保つとともに、常時マスクを着用する。

②舞台裏・楽屋等での対策

- * 出演者の人数に十分なだけの楽屋を確保する。楽屋の利用を最小限に抑えるため、本番衣装は可能な限り着用した上で会場入りをする。
- * 会場での飲食は、十分な間隔を確保した上で、飲食中の会話を控えるな

ど、最大限の配慮を行う。

* 舞台裏での待機時間は最小限に留め、待機の際には十分な距離を確保する。

* その他、手指のこまめな洗浄、消毒など、基本的な感染症対策を実施する。

§6 ガイドライン等の改訂について

本ガイドライン、各種指針・マニュアルは、必要に応じて適宜見直され、改訂される。

これらの改定において、重大な変更に当たると当団が判断する場合は、公式ホームページおよび各種媒体を通じてお客様にご案内する。